

## 奈良県立五條高等学校 令和2年度 学校運営協議会 全日制部会（第1回）

- 1 日 時 令和2年6月22日（月）14時00分～15時30分
- 2 場 所 奈良県立五條高等学校 小会議室
- 3 参加者 （委員）石井和弘、飯田明子、下村卓、中井基雄（校長）  
（事務局）松田雅彦（全日制教頭）、東達也（全日制・定時制教頭）、  
久保哲宏（事務長）、田中鈴子（総務部長）、左川正太郎（教務部長）、  
吉村典久（進路指導部長）、奥村洋（生徒指導部長）、  
澤 一彦（全日制広報企画部長）

### 4 内 容

- (1) 挨拶・日程説明
- (2) 委員紹介
- (3) 授業参観（1年Bルーム、2年Dルーム、3年Aルーム）
- (4) 協議

○五條高等学校全日制課程の今後の取組について

#### ・石井委員

授業を見させていただいて、自分たちの時代とは大きく変わっていることに驚いた。自分たちが高校生の頃は「ゆとり」とは無縁で競い合っていた。今は先生方がとても丁寧に教えている。会社では、自主性がある人には目をかけるが、学校では様々な生徒に対応しなければならないので大変だと思う。ただ、底上げができなければレベルが上がらないのは会社も同じであり、考えさせられた。

#### ・飯田委員

授業は楽しそうな印象を受けた。自分たちが高校生の時代に比べ、授業の丁寧さがうらやましい。人がどのような教育を受けて社会人となるのか、企業人として、考える良い機会になった。

#### ・下村委員

授業では、マスクをしているせいもあるが生徒たちの声が小さかった。先生の教え方は優しく丁寧で、教科書も全て理解できれば大学入試に対応できるのではないかな。昔はついてこれるものだけで良いという教え方であったが、今は違う。

#### ・石井委員

部活動については、全員入部させているか。積極的に入部の呼びかけをしているか。

#### ・松田教頭

全員入部ではないが、昨年の入部率は76%である。今年度は8割を目標にしている。サッカーや柔道など活躍している部には積極的な生徒が多いが、何か部活動をやろうと考えている生徒も多い。

#### ・石井委員

企業の求める、メールのやりとりやパソコン、ブラインドタッチのタイピングなどを身につけるような授業はあるか。

#### ・中井校長

ブラインドタッチまでは求めているが、情報や商業の授業で学んでいる。

#### ・飯田委員

生徒たちは進路の目標をもって入学しているか。

#### ・吉村進路指導部長

看護・医療系の進学を目指す生徒が増えており、そういった生徒は1年生から決めている。大学進学は入学後に決める生徒も多い。生徒の進路希望も多様化しており、就職希望でも公務員のみを志望する生徒もいる。

・石井委員

今日の商業簿記の授業では、手書きしている手元を生徒のモニターに映していたが、パワーポイントなどを利用した授業をされているか。

・中井校長

検定は手書きなので、対応できるようにあのような授業方法をとっている。文部科学省はコンピューター会計も指導するよう求めている。パワーポイント等を使用する教員も多い。在宅教育中の授業動画作成を機に ICT を利用する教員が増えた。

## 5 連絡事項・挨拶

・本年度の予定について（全日制関係分）

6月22日（月）	第1回全日制部会開催
1月22日（金）	第2回全日制部会開催
3月2日（火）	第2回学校運営協議会開催

・中井校長挨拶

本日は委員の皆様にはご多忙の中お越しいただきありがとうございました。本日授業を御覧いただきましたが、現在求められているのは一方的ではなく、対話的な授業であり、これからもより良いものとなるよう取り組みます。在宅教育期間中、本校では約300本の授業動画を配信しましたが、教員は年齢に関係なく意欲的に取り組みました。動画が好評だったので授業で継続的に利用している教員もいます。

先日、金陽会から iPad 16 台を頂き、計 41 台になりました。このような力強いサポートをいただき感謝を申し上げます。

ただ、本校を取り巻く状況は厳しいものがあります。県南東部の人口減と少子化の影響で、五條市の中学生が数年後には100人程度になります。現在五條市内から40%の中学生が入学していますが、これからは、現在スクールバス利用約450名、JR 利用約150名の市外からの生徒にもっと入学してもらう必要があります。そのために、安全で安心できる、落ち着いた学習環境を土台に、部活動その他総合的に学校の魅力を高めていかなければなりません。これからも委員の方々には、このような場だけではなく、日頃から様々なアドバイスをいただければ幸いです。本日は本当にありがとうございました。



